



出発式では環境に優しい(土に戻る)風船を飛ばしました。南の方向に飛んでいきましたね。どこまで行ったかな？



日差しもあまり強くなく、絶好のお散歩・・・いえウォークラリー日和でした。風もこちよくて、足取りも軽やか。いろんな草花を見つけたり、虫を見つけたり・・・。目的外のこともたくさん楽しめました。道も結構覚えたのでは？



帰ってからアンデスから来た種で育てた大きなスイカを食べました。長期保存に耐える水分補給用の甘味の少ない種類のようなのです



後日、福井新聞と日刊県民福井でも紹介されました。



校歌に出てくるアノ山も見えたね。



途中で円山地区の農業についても学びました。米・麦・大豆・梨などの話を聞きました。



こわーい伝説もありました・・・。

寺子屋体験!? 昔の学校は、こんな感じだったのかな? 昔のそろばんやお金も見ることができました。

①永平寺道跡 下中町 円山地方から永平寺へお参りする道。この道は整備されていなかったが、近道であるためよく利用されていた。昔の道は徐々になくなり、この道はわずかにその一部が残ったものである。

②下中の河戸 下中町 この荒川岸に下中の河戸(舟つき場)があった。水の量が多く、古くより舟運が開けていた。車のない時代の舟の運送は大変便利で、村の人たちは大きな恩恵を受けていた。

③吉川氏居館跡 下中町(下中) ここは朝倉義景の家臣、吉川久太夫が1,318石を所有して、ここに館(家)を構えていたと伝えられている。それにちなんで「館」「館の腰」「お館道」などの地名が今でも残っている。

④三ツ屋用水 北今泉町 この用水は、飲料水である御上水(芝原用水)を分水して下中、今泉、河増、南四ツ居の水田を養う用水である。藩の厳しい制限を受けたので、常に水不足に苦しむことが多かった。村人の飲料にも使われていたので、早朝、水のきれいな内に、どの家も水くみを行う風習があった。

⑤西齋寺 北今泉町 明治7年、本堂を借用して仮校舎とし、今泉小学を設立した。東今泉・北今泉・下中・河増4ヶ村の生徒、男子59名・女子8名、計67名を収容。同年、北四ツ居に設立の四ツ居小学と共に、後の円山小学校の前身である。明治9年、他校にさきがけて18坪余の専用の校舎を新築した。このことから、この校下四ヶ村は教育に対して強い熱意を持っていたことを知ることが出来る。

⑥東・北今泉の河戸 東今泉町 この荒川岸に東・北今泉村共用の河戸(舟つき場)があった。車のない時代に重い荷物を運ぶのに最も適した舟運は、河戸の代銀を払ってその利用を願い出る他村の者も珍しくなかった。また、ここには布淵の跡として伝説も残っている。

下中の農作物についても学ぼう!
～米・麦・豆など。なし畑もあるよ～



この川に舟が通っていたなんて・・・。もっと広がったのかな？



すごいところに史跡があります。見逃さないでね。



親も「へえー」と感心することも。知ってるようで知らない農業と水(川)の話。

